

コンサート 新進指揮者 第7回

プログラム

シューベルト

交響曲第7番 口短調 D759「未完成」

ベートーヴェン

交響曲第5番 ハ短調 Op.67「運命」

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

指揮／
松村 詩史

2025 **12/1** MON
18:00〈開場〉18:45〈開演〉

全指定席 入場料 1,000円

※未就学児のお子さまの同伴・入場はご遠慮ください。

名古屋市青少年文化センター
アートピアホール

名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク11階

交通アクセス

地下鉄東山線・名城線「栄」下車、南へ徒歩7分

地下鉄名城線「矢場町」下車、5・6番出口より西へ徒歩5分

お問い合わせ／チケット取扱い

山田貞夫音楽財団事務局

☎ 052-533-6708 ✉ zaidan@daido-net.co.jp

主催：



公益財団法人
山田貞夫音楽財団

第7回 新進指揮者 コンサート

profile



Shifumi Matsumura

指揮 松村 詩史

大阪府岸和田市生まれ。

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻にて音楽美学を学び、同大学を卒業後、東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)に入学する。

これまでに、指揮を広上淳一、田代俊文、増井信貴、時任康文、三河正典、船橋洋介、ピアノを森早苗、野田清隆、川端千絵、ヴァイオリンを舘市正克、尺八を柿塚香、音楽理論を植田彰の各氏に師事。

また、東京音楽大学在学中に、ボリス・ベルキン氏、故汐澤安彦氏のマスタークラスを受講した。

2019年より現在にいたるまで、東京音楽大学指揮研究員として学内外で広上淳一氏のアシスタントを務め、2022年夏に開催された「グランシップ音楽の広場」では、急病のために降板した氏の代役に指名され、野平一郎氏の新作《祝祭の打～輝け五大陸～》(和太鼓:林英哲氏、英哲風雲の会)の世界初演を含む公演を成功に導いた。

首都圏をはじめとする各地のオーケストラや合唱の指揮・指導をおこなうかわら、テレビドラマ『相棒』への音楽制作協力・指揮者役としての出演や、グリーク《劇音楽『パール・ギュント』》の語りを務めるなど、活動の幅を広げている。

2025年、「公益財団法人山田貞夫音楽財団 第7回指揮者オーディション」にて、山田貞夫音楽賞ならびに特選(第1位)を受賞。

2026年度より、セントラル愛知交響楽団のアソシエイトコンダクターに就任予定。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2024年4月から音楽監督に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期2年)に迎えており、2025年度は今木智彦、境田栄斗の両名が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



公益財団法人
山田貞夫音楽財団